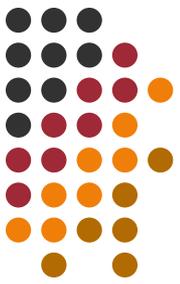


パワーポイントで学ぶ プレゼンテーションの基礎

2010年12月10日
マルチメディアセンター
重歳 憲治





要旨

- 効果的なプレゼンテーションの為のポイント
- パワーポイントを使ったスライドの作成
- スライドにエクセルの表やグラフを挿入
- アニメーションで動的なスライドを作成



目次

- 1章 プレゼンテーションの基本
- 2章 パワーポイントの使い方(基礎)
- 3章 パワーポイントの使い方(応用)
- 4章 参考文献

1章

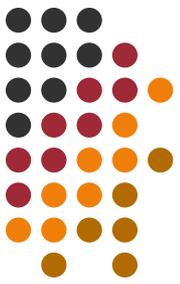
プレゼンテーションの基本

- 1-1 プレゼンテーションの論理構造
- 1-2 スライド1枚の内容
- 1-3 分かりやすいスライドを作る
- 1-4 制限時間を守る

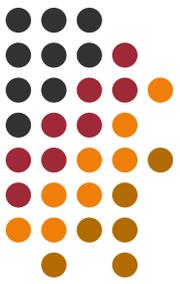


1-1

プレゼンテーションの論理構造



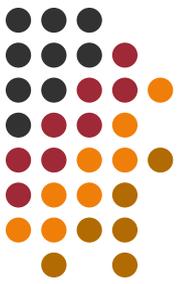
- **タイトル** 何をしたかを端的に表す題名
- **目的、
背景** 何を課題にして、どの部分をやろう
 としているか。前提条件は何か。
- **方法** 実験方法、データ収集方法、
 分析方法等
- **結果** 得られた事実だけをわかりやすく
- **考察** 結果の分析、推論
- **結論** 結果と考察から導いた内容を簡潔に



1-2

スライド1枚の内容

- 文字中心のスライドは10行以内
(5行程度が最良)
→ **大きな文字**
- スライド1枚につき1つの内容
 - 各スライドにタイトルをつける
- スライド1枚につき1分程度の内容

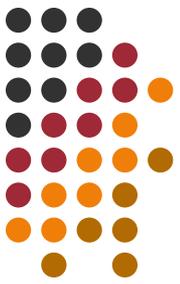


1-3

分かりやすいスライドを作る

- 出来るだけ**図**や**写真**を使う
- 細かい表やグラフは避ける
- データを厳選する
- 文字の色使いに注意する

1-4 制限時間を守る



- 制限時間を超過するほど聴衆の印象は悪くなる
- 決められた時間に収まるよう**要点をしぼる**
- 時間配分は**事前にシミュレーション**する

2章

パワーポイントの使い方(基礎)

- 2-1 パワーポイントの起動
- 2-2 デザインテンプレートの利用
- 2-3 新規スライドの作成
- 2-4 テキストボックスの挿入
- 2-5 図の作成
- 2-6 画像の挿入(写真, クリップアート)
- 2-7 オブジェクトのグループ化
- 2-8 オブジェクトの微調整
- 2-9 オブジェクトの順序変更
- 2-10 エクセルから表の挿入
- 2-11 エクセルからグラフの挿入
- 2-12 スライドショー



2-1 パワーポイントの起動



スタート



すべてのプログラム



Microsoft Office
PowerPoint 2007

2-2

デザインテンプレートの利用



すべてのテーマ
このプレゼンテーション
亜あ

デザインが選べる

配色が選べる

クリックしてタイトルを入力

「デザインタブ」→「テーマグループ」の
をクリックし、任意のテーマを選択する。

クリックしてノートを入力

Office
グレースケール
アース
アーバン
エコロジー
キュート
クール
シック
モダン
デザート
トラベル
ネオン
ビジネス
ひらめき
フレッシュ
ペーパー
みやび
メロ
モジュール

2-3

新規スライドの作成



クリック

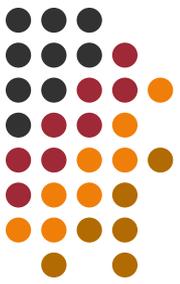
タイトルとコンテンツ

白紙のスライド

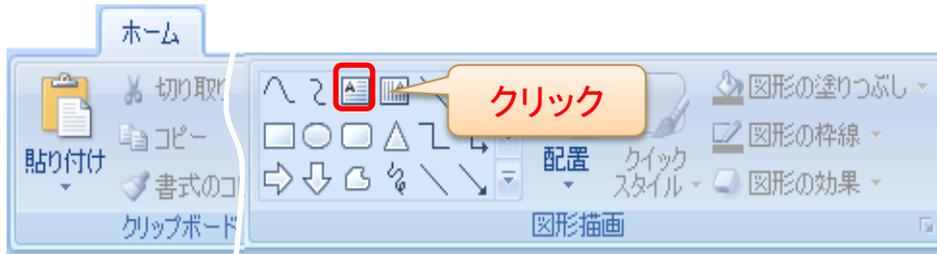
「ホームタブ」→「スライドグループ」から、任意のスライドを選択

デザインが選べる

配色が選べる



2-4 テキストボックスの挿入



↓
カーソルの形
が変わる

「ホームタブ」→「図形描画グループ」
から「横書き」を選択

基点を決めて右下
にドラッグ



2-5 図の作成



「ホームタブ」→「図形描画グループ」の  をクリック。色々な図が用意されているので必要なものをスライドに挿入する。

+ カーソルの形が変わる
基点を決めて右下にドラッグ



2-5

図の作成(つづき)



図をクリック

図を選択し、「描画ツール」→「書式タブ」から、図のスタイルや配置を変更することができる。

2-6 画像の挿入(写真)



「挿入タブ」→「図グループ」→
「図」をクリックし、画像を選択
して「挿入」をクリックする。

2-6

画像の挿入(クリップアート)



「挿入タブ」→「図グループ」→「クリップアート」をクリック

「パソコン」と入れて検索ボタンをクリック

図の上でダブルクリックorスライドの上までドラッグ&ドロップで挿入できる

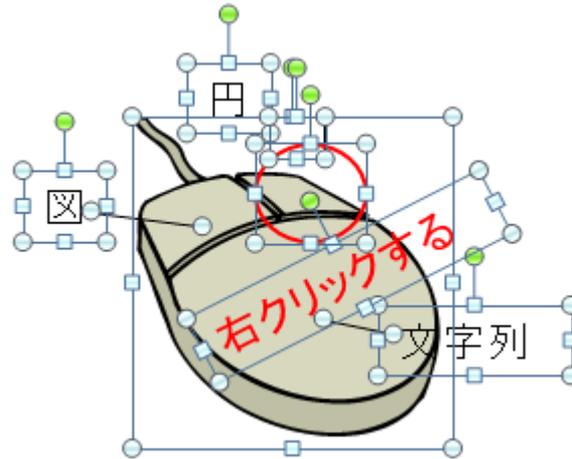
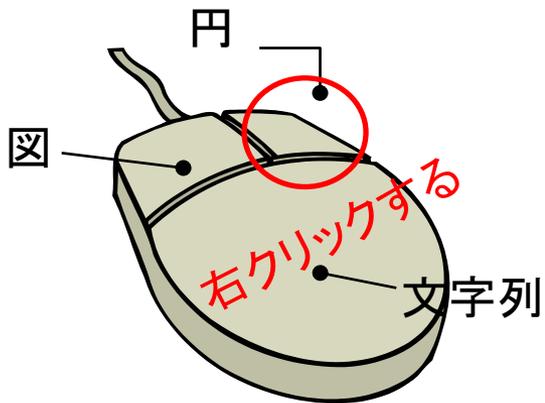
2-7 オブジェクトのグループ化



配置した「図」「文字列」「円」オブジェクト

全てのオブジェクトを
選択

右クリック→メニュー→
「グループ化」



Shiftキーを押しながらクリック
または、周囲をドラッグして選択

<参照>

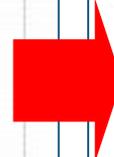
オブジェクトのグループ化



<参照>
オブジェクトのグループ化

- クリックしてテキストを入力

クリックして
オブジェクトを
挿入すると...



<参照>
オブジェクトのグループ化

グループ化を
選択することが
できない

プレースホルダからオブジェクトを挿入した場合は、
グループ化を選択することができない。

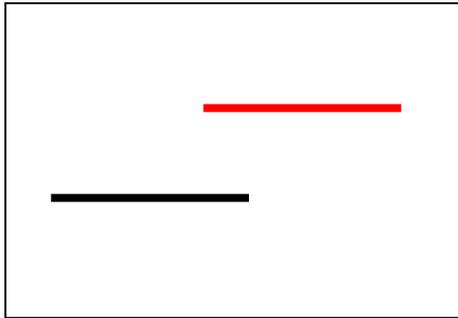
→ 「挿入タブ」またはコピー&ペーストでオブジェクト
を挿入した場合は選択可能。

2-8

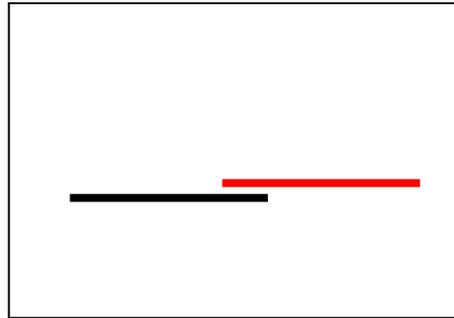
オブジェクトの微調整



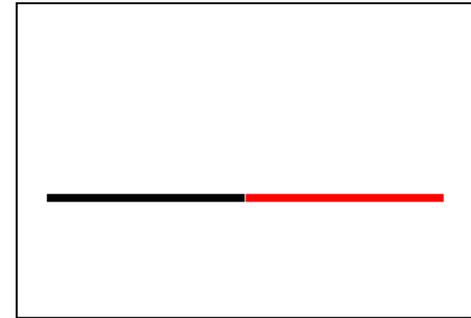
2直線を直線にする



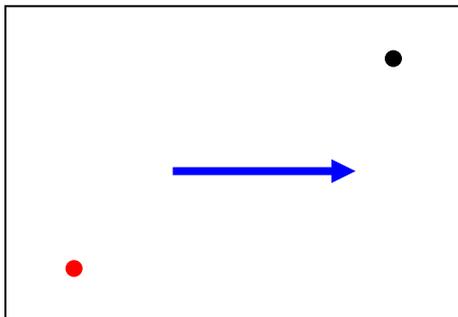
おおまかな調整は矢印キーやマウスで行う



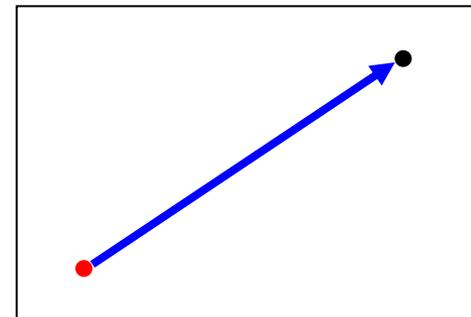
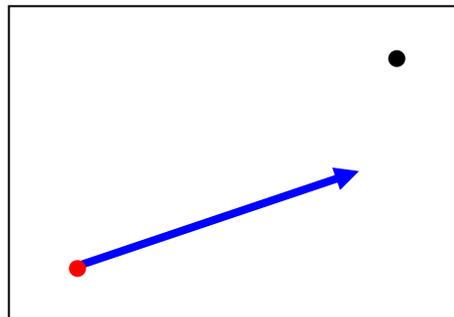
微調整は「Ctrl」キーを押しながら矢印キー



矢印を赤丸と黒丸にぴったりつける



「Alt」キーを押しながらオブジェクトドラッグするとグリッド拘束が解除される



2-8

オブジェクトの微調整(つづき)



配置

- 左揃え(L)
- 左右中央揃え(C)
- 右揃え(R)
- 上揃え(T)
- 上下中央揃え(M)
- 下揃え(B)
- 左右に整列(H)
- 上下に整列(V)
- スライドに合わせて配置(A)
選択したオブジェクトを揃える(O)
- グリッドの表示(S)
- グリッドの設定(G)...

配置する場所
を選択する

2-8
オブジェクトの微調整(つづき)

左揃え

2-8
オブジェクトの微調整(つづき)

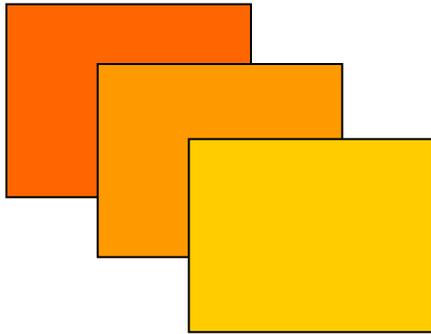
上下に整列

2-9

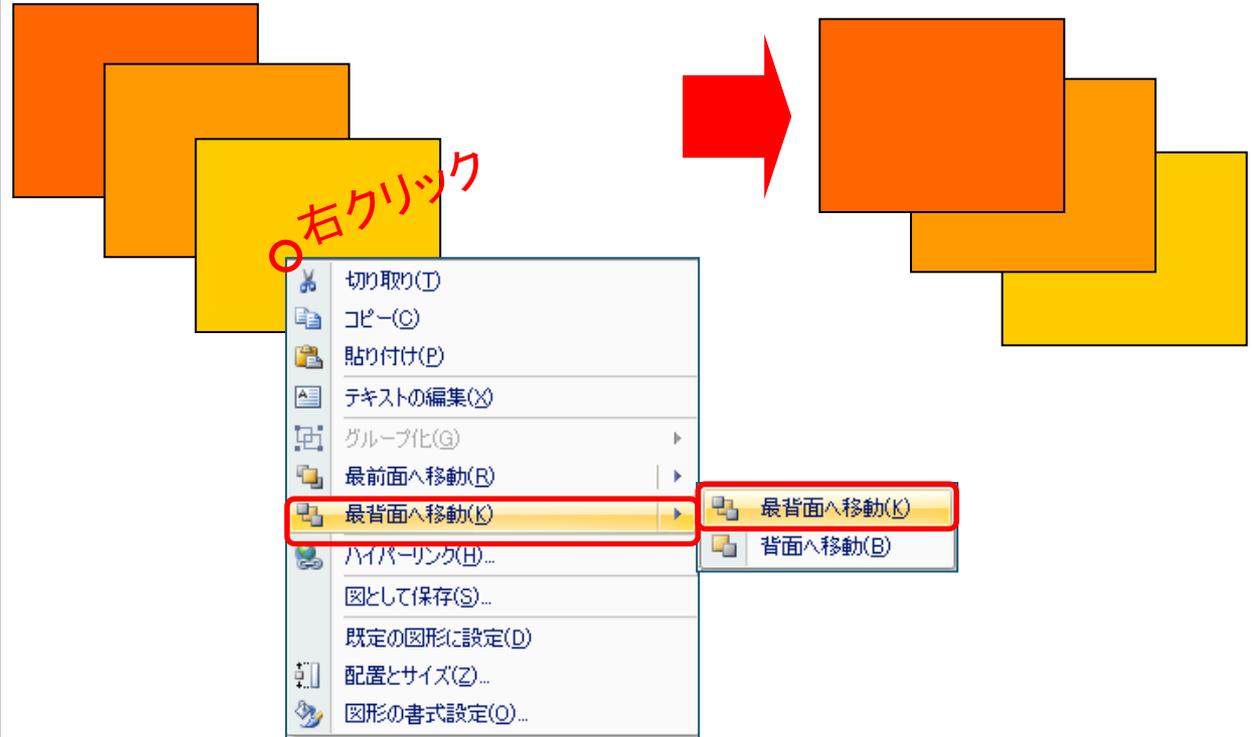
オブジェクトの順序変更



オブジェクトの
順序を逆にする



順序を変更するオブジェクトの上で右クリックし、
「順序」→「最背面へ移動」をクリック



2-11 エクセルからグラフの挿入



使用ファイル
演習用データ.xlsx

グラフを編集する時は、

- ◆ 右クリック→データの編集
- ◆ グラフツール→デザインタブ→データグループ→データの編集

2-12 スライドショー



The screenshot shows the Microsoft PowerPoint interface. The 'Slide Show' tab is selected in the ribbon. The 'Slide Show' group contains icons for 'Start from Beginning', 'Start from Current Slide', 'Next Slide', 'Previous Slide', 'End Show', and 'Refresh Slides'. The 'Slide Show' group is highlighted with a red box. The 'Slide Show' group is also highlighted with a red box. The main slide area displays the title '2-12 スライドショー'. The slide thumbnail pane on the left shows a list of slides, with slide 23 selected. The status bar at the bottom indicates 'Slide 25/35'.

「スライドショーの開始」をクリックから目的に応じた開始方法を選択する

「Enter」キーまたはマウスのクリックで次のスライドへ

「Back Space」キーで前のスライドへ

3章

パワーポイントの使い方(応用)

- 3-1 アニメーション
- 3-2 数式の挿入
- 3-3 全てのスライドにロゴを入れる
- 3-4 ノートの使い方とプリントアウト方法
- 3-5 その他便利機能の紹介
- 3-6 日経BP記事検索サービスの紹介



3-1

アニメーション



アニメーションは説明の際に、オブジェクトを強調したり、順序を示すのに用いられる。

非常に効果的であるが、多用すると煩わしく感じられるので、**最小限にとどめる**よう注意が必要である。

テレビの解説に用いられるアニメーションなどを見て、センスの良いものをまねると良い。

3-1

アニメーション(つづき)



クリック

3-1
アニメーション(つづき)

アニメーションの設定

効果の追加

オブジェクトを選択してアニメーションタブ→アニメーショングループ→アニメーションの設定をクリック

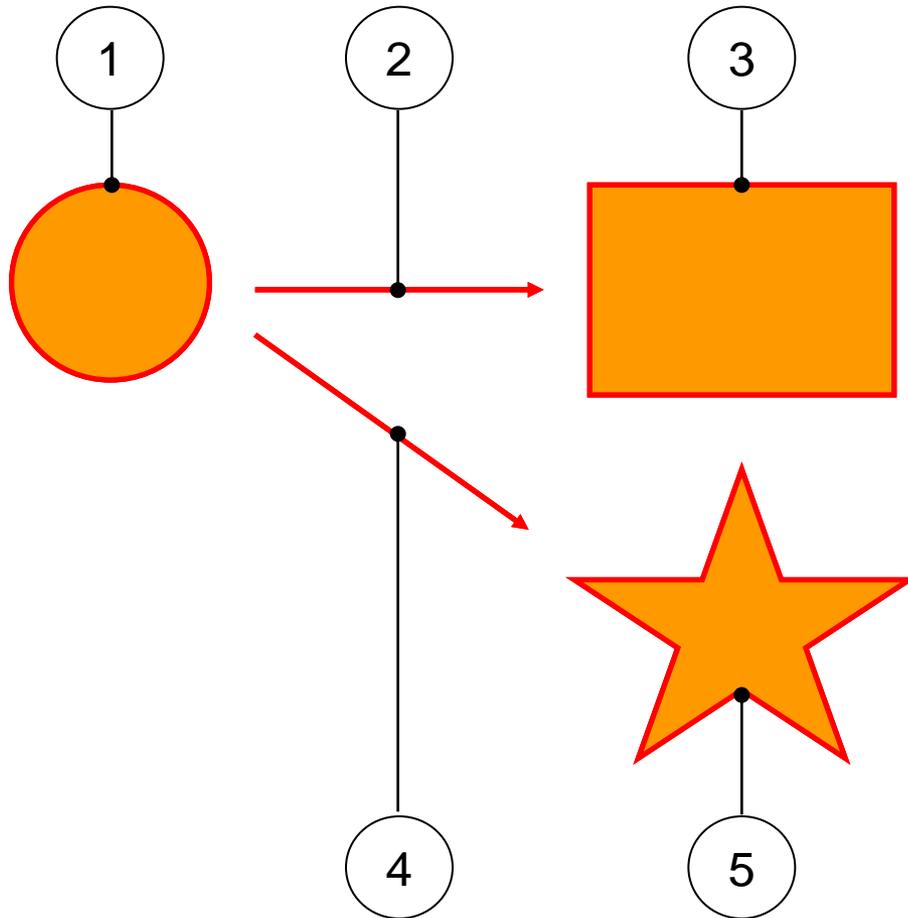
アニメーションの設定を確認する場合は「再生」ボタンをクリック

「効果の追加」から所望の効果を選択

再生

3-1

アニメーション(つづき)



番号順に設定

- ① ディゾルブイン
- ② ワイプ(方向:左から)
- ③ ストレッチ
- ④ ワイプ(方向:左から)
- ⑤ フェードとズーム
(速さ:速く)

3-2 数式の挿入



クリック

Microsoft 数式 3.0

挿入される

更新をクリックする

数式を入力する

3-2
数式の挿入

3-2
数式の挿入

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

Microsoft 数式エディタ - presen.pptx 中の数式

ファイル(F) 編集(E) 表示(V) 書式(T) スタイル(S) サイズ(Z) ヘルプ(H)

更新(U)

Microsoft 数式エディタを終了して presen.pptx に戻る(X)

$$x = \frac{-b \pm \sqrt{b^2 - 4ac}}{2a}$$

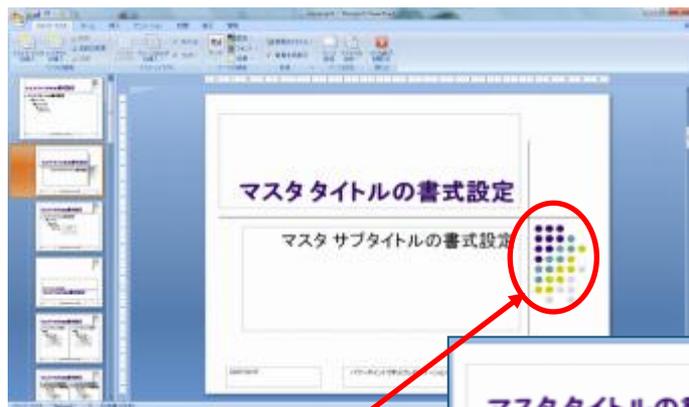
数式を保存したり、Microsoft 数式エディタを終了します。

3-3

全てのスライドにロゴを入れる



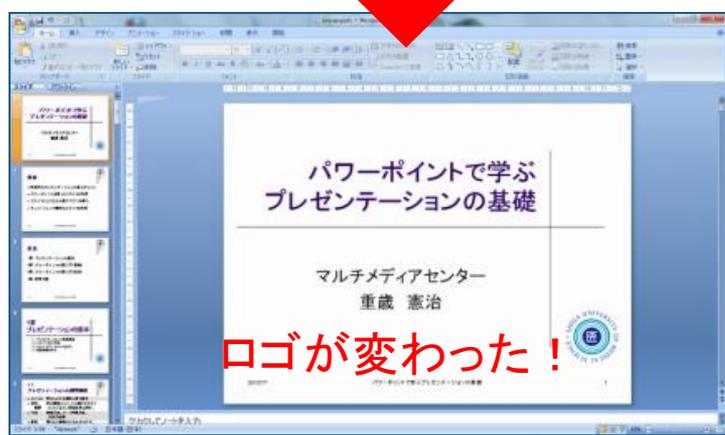
「表示タブ」→「プレゼンテーションの表示」→「スライドマスタ」をクリック



この画像を削除し、別のものに置き換える



置き換える画像を貼り付ける



3-4

ノートの使い方とプリントアウト方法



→ ノート表示(表示タブ - プレゼンテーションの表示グループ - ノート)すると図の貼り付けが可能になる

The screenshot shows the Microsoft PowerPoint interface in 'Notes' view. The '表示' (View) tab is active, and the 'ノート' (Notes) button is highlighted with a red box. The main window displays a slide with a 'ノート表示' (Notes view) area. A callout bubble with a speech bubble icon says '図の挿入もできる' (You can also insert images). Below it, another callout bubble says '印刷対象をノートにする' (Set the print target to Notes). The print dialog box is open, showing the printer 'RICOH imagio Neo C455 RPCS'. The '印刷範囲' (Print range) is set to 'すべて' (All), and the '印刷対象' (Print target) is set to 'ノート' (Notes), which is highlighted with a red box. The '配布資料' (Print range) is set to '1' page.

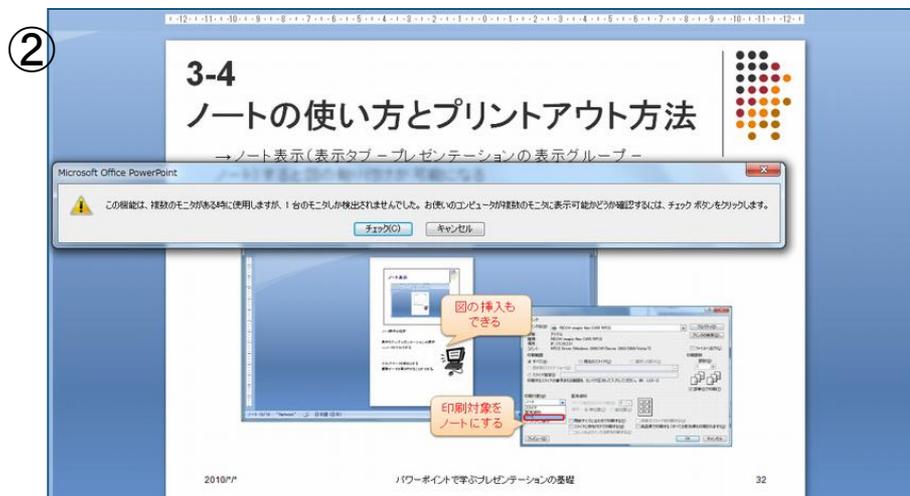
3-5

その他便利機能の紹介 1-1



● 発表者ツールの使い方

→ スライドショータブ — モニタグループ — 発表者ツールを使用する



- ① スライドショータブ→モニタグループ→発表者ツールを使用するを☑する。
- ② モニタの設定をするためのダイアログが開くので、「チェック」をクリックする。

3-5

その他便利機能の紹介 1-2



③

画面のプロパティ

テーマ デスクトップ スクリーンセーバー デザイン 設定

モニター アイコンをドラッグしてモニタの実際の配置と合わせてください

ドラッグアンドドロップ

1 ← 2

解像度を同じくらいにしておく

ディスプレイ (D):
2. Mobile Intel(R) 965 Express Chipset Family 上の (既定のモニタ)

画面の解像度 (S)
小 大
1024 x 768 ピクセル

画面の色 (C)
最高 (32 ビット)

このデバイスをプライマリ モニタとして使用する (U)
 Windows デスクトップをこのモニタ上で移動できるようにする (E)

識別 (I) トラブルシューティング (T) 詳細設定 (D)

OK キャンセル 適用 (A)

WinXP

モニター #2

選択したモニタは現在使用不可にされています。このモニタを使用可能にすると、Windows デスクトップの一部として使用できます。また、マウスをその上に動かしてアイコンをデスクトップ上に置き、プログラム ウィンドウを表示することもできます。

このモニタを使用可能にしますか?

はい (Y) いいえ (N)

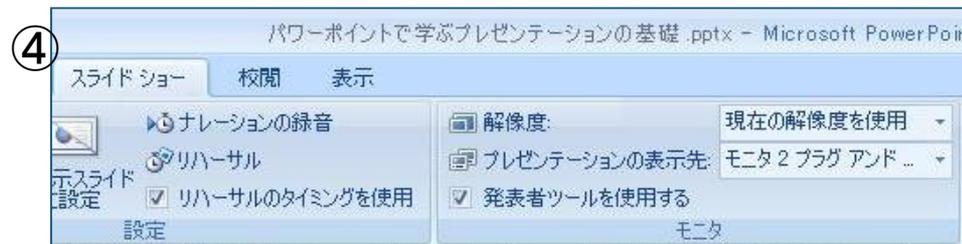
③ <WinXP>

画面のプロパティの設定タブで、ディスプレイ2を選択し、画面の解像度をディスプレイ1と同じくらいのサイズで設定する。その後、ディスプレイ2をディスプレイ1の上にドラッグアンドドロップし、適用をクリックする。

ディスプレイ2を使用可能にするかを問うダイアログが開くので、「はい」をクリックする。

3-5

その他便利機能の紹介 1-3



③ <Win7>

ディスプレイ表示の変更ダイアログの複数のディスプレイを「表示画面を拡張する」に設定し、適用をクリックする。

④ スライドショータブ→モニタグループの解像度を「現在の解像度を使用」、プレゼンテーションの表示先を「モニタ2 プラグアンドプレイ」に設定する。

3-5

その他便利機能の紹介 1-4



⑤



発表者側

3-4 ノートの使い方とプリントアウト方法

→ ノート表示 (表示タブ - プレゼンテーションの表示グループ - ノート) と図の貼り付けが可能になる



プロジェクタ側

- ⑤ 発表者側: ノート、経過時間を表示することができる
- 聴講者側: スライドのみが表示される

3-5

その他便利機能の紹介 2



- **オブジェクトの複製方法**
→ Ctrl+ドラッグ
- **スライドに挿入した図の圧縮方法**
→ オフィスボタン – 名前を付けて保存 – ツール – 画像の圧縮
- **パスワードの設定方法**
→ オフィスボタン – 名前を付けて保存 – ツール – 全般オプション
- **配布資料のプリントアウト方法**
→ オフィスボタン – 印刷 – 印刷対象を「配布資料」に変更

3-6

日経BP記事検索サービスの紹介



滋賀医大HP



附属図書館HP



日経BP記事検索サービス



「PDF・プレゼンほか」

4章 参考文献





参考文献

- 研究発表マニュアル(鳴門教育大学 島宗理先生)
http://www.naruto-u.ac.jp/~rcse/s_opre.html
- プレゼンテーション入門(福井高専 米田知晃先生)
<http://www.ee.fukui-nct.ac.jp/~yoneda/text/other/presentation/>
- 学会発表マニュアル(沖縄大学 関山健治先生)
<http://members.tripod.com/~sekky/presman.html>
- プレゼン道入門(神戸大学 松田卓也先生)
<http://nova.planet.sci.kobe-u.ac.jp/~matsuda/review/PLAIN99.html>
- H17情報処理学 第9回, 第10回講義資料(滋賀医大 小森優先生)
<http://www.shiga-med.ac.jp/johoshorigaku/>
- PowerPoint2007, FOM出版